

年間取組検証シート

種別	施策改革
----	------

No	改革名称
32	公園設置基準の見直し及び利用度が低下した公園の整理

部	課
都市整備部	建設課

現状・課題

現在3,000㎡以上の住宅を目的とした開発事業を行う場合開発面積の3%以上の公園を設置しなければならない。また過去には1,000㎡以上の開発事業で公園設置を求めている時期もあり狭小で利用頻度が低い公園が数多くある。

改革内容

開発事業等に伴う公園設置基準を見直し新規の公園設置を抑制するとともに、現在ある公園についても利用形態等を調査し、地域と協議した上で廃止、譲渡、用途変更等を進める。

基準値	目標	効果
/	基準の見直し、利用頻度が低い公園の用途変更	<ul style="list-style-type: none"> ・維持費の縮減 ・収入の増加 ・管理人件費の縮減

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
年次計画	設置基準見直しの検討	<ul style="list-style-type: none"> ・設置基準見直しの検討 ・既存公園の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・新基準の実施 ・関係者協議 	用途変更実施(目標1公園)	用途変更実施(目標1公園)
年次実績	既存資料の整理、情報の収集、県審査基準見直し	県開発担当課である都市計画課と協議(新基準協議)	県都市計画課との協議済。	関係課協議	

平成24年度取組み内容(実績)	平成25年度取組み内容(計画)
各公園を単体で管理するための台帳(公園台帳)しか整備していないため、近隣の公園との位置関係や地域での役割等、見直しの検討に必要な情報を加味した公園調査票の作成に着手した。また、県開発審査基準の見直しについても、管理者の判断で可能となった。	街区公園の配置状況や郷づくり協議会等からの聞き取りにより利用状況や必要性を検証し、用途変更候補施設の選定を実施する。また、今後の新規開発の公園設置についても、管理者協議で対応していく。
平成25年度取組み内容(実績)	平成26年度取組み内容(計画)
県開発審査基準についての協議で、管理者判断について明確化した。平成24年度に引き続き公園調査票の作成を進め、地域の意見を取り入れるため郷づくり協議会へのヒアリングを2地域に対し実施した。	管理者判断のガイドライン作成に向けて、県と協議していく。残り6地区の郷づくり協議会へのヒアリングを進め、用途変更候補施設の選定を実施し、整理に向けて関係者と協議を実施する。
平成26年度取組み内容(実績)	平成27年度取組み内容(計画)
県都市計画課とは協議が整った。予定して6地区のヒアリングは実施できなかった。	関係課と協議しガイドラインを作成する。また、残り6地区の郷づくり協議会へのヒアリングを行う。
平成27年度取組み内容(実績)	平成28年度取組み内容(計画)
関係課協議を行い、ガイドライン作成については、検討期間が必要であり、作成までには至らなかった。	ガイドライン作成について、検討を行う。また、6地区の郷づくり協議会へのヒアリングを行い、対象公園の抽出を行う。
5か年の取組み内容(実績)及び今後の方針	